

VII

基盤整備事業の概要



幸市民館 16ミリ映写機操作技術講習会

Ⅶ 基盤整備事業の概要

市民の学習活動の拠点となる市民館の基盤整備を行なう。

1 教育文化会館・市民館運営審議会

1987（昭和 62）年度まで1審議会です市的な視点による諮問事項について審議してきたが、1988（昭和 63）年度から各館別に7審議会（1館 10名以内の委員を委嘱）が発足した。2009（平成 21）年度も、それぞれの審議会が地域の諸問題にふれ、住民の学習要求に即応した活動及び運営がさらに豊かになることをねらいに開催した（任期 2 年の 2 年目・年 4 回開催）。

なお、2001（平成 13）年度からは市民の参画を進めるために、各館の運営審議会に 1 名ずつ公募委員の枠が設けられた。公募にあたっては、市政だよりでの一斉広報だけでなく、各館だより、チラシなどでの広報を行い、応募者数が増加した。

2 刊行・広報活動

教文・市民館の事業を市民に広報することは、単に参加者の募集のためのみでなく、市民館活動への理解を深め、生涯学習・社会教育に対する認知を広げる意味も大きい。教文だより、市民館だより、ホームページ、ポスターやチラシ、事業ごとの文集など、さまざまな媒体を活用している。

3 職員研修

2005（平成 17）年度から、社会教育職員の研修は総合教育センターから生涯学習推進課へ移管となった。

「かわさき教育プラン」の基本施策の一つ「市民が自ら学びいきいきと活動する地域づくり」において、社会教育施設の機能を充実させるとともに、施設間の連携や職員の力量形成を図ることを求められており、今年度の研修は、そのような観点を念頭におきながら実施した。

4 職員研究

2009（平成 21）年度は「コーディネーターとは何か～いま、社会教育職員に求められていること」というテーマで昨年度開始した研究が終結し報告を行った。

5 視聴覚ライブラリー事業

教育文化会館・市民館で視聴覚ライブラリー機材・教材の貸出し事業を行った。

6 16 ミリ映写機操作技術講習会

2009（平成 21）年度は幸市民館、中原市民館、多摩市民館で実施した。

Ⅶ 1 教育文化会館・市民館運営審議会

(◎は会長、○は副会長)

館名	氏名	所属	区分	諮問・研究課題	開催月日
教育文化会館	◎ 庄司 順子 米山 実 池田 純子 泰 啄二 堀切 義昭 ○ 青木 恵美子 二瓶 佐和子	市立大島小学校 校長 川崎区文化協会 副会長 教育文化会館サークル連絡会 副会長 川崎区PTA協議会 会長 川崎区地域教育会議 議長 川崎市地域女性連絡協議会 副会長 公募委員	1	関係団体との連携による 教育文化会館の事業	5・ 28
			2		9・ 24
			2		12・ 17
			2		3・ 4
			3		
幸市民館	○ 比嘉 佳光 菅野 具江 中村 和子 齊藤 敦子 島田 和代 ◎ 志村 雄治	御幸小学校 校長 幸区PTA協議会 副会長 幸区文化協会 会計 幸サークル連絡会 顧問 日吉分館事業市民実行委員会 副委員長 川崎市幼稚園協会	1	前回の運営審議会提言 について再検証	6・ 23
			2		9・ 15
			2		12・ 8
			3		3・ 2
			4		
中原市民館	土澤 稔 石橋 榮次 原 庚三 渡辺 敏夫 小笠原 茂春 大下 由美子 ○ 萩原 弘子 ◎ 金子 孝三	西中原中学校 校長 中原区文化協会 副会長 小杉陣屋町2丁目町内会 会長 (社) 中原区社会福祉協議会 理事 中原区子ども会連合会 事務局長 中原区PTA協議会 副会長 中原市民館サークル連絡会 副会長 公募委員	1	中原区民にとって市民館 をより身近な施設とする ために	6・ 26
			2		9・ 25
			2		12・ 18
			2		3・ 10
			3		
高津市民館	◎ 風間 康雄 岩村 朱實 篠崎 恵子 下山 宏一 ◎ 鈴木 輝雄 渡辺 悦子 池田 安麿 ○ 小倉 敬子	東高津小学校 校長 高津区地域教育会議 副議長 高津区文化協会 理事 高津区全町会連合会 理事 高津区PTA協議会 副会長 高津市民館サークル連絡会 会計 公募委員 (財) かわさき市民活動センター 理事長	1	市民・団体等との協働に よる生涯学習の推進につ いて	6・ 16
			2		9・ 18
			2		12・ 18
			2		3・ 19
			4		
宮前市民館	◎ 生駒 みを ○ 秋山 俊幸 東出 ゆかり 島崎 蓉子 中村 布佐子 齊藤 光正 工藤 正興 山川 律子	(有) コミュニティーサポートネット 代表 鷺沼小学校 校長 宮前区PTA協議会 宮前区文化協会 社会福祉協議会 菅生分館利用者懇談会 宮前区町内会連合会 公募委員	4	ボランティアコーディネー ターと市民館の関係につ いて	6・ 26
			1		9・ 15
			2		12・ 15
			2		3・ 11
			3		
多摩市民館	◎ 井田 肇 ○ 吉田 紀代子 新堀 信之 米田 信一 中田 香織 北村 隆英 新谷 七美 小林 繁	多摩区町会連合会 副会長 多摩区社会福祉協議会 理事 生田小学校 校長 多摩区地域教育会議 議長 多摩区PTA協議会 副会長 たま学習サークル連絡会 会長 公募委員 明治大学 教授	2	愛される市民館とは	6・ 11
			2		9・ 10
			1		12・ 8
			2		3・ 9
			4		
麻生市民館	◎ 宗 いづみ ○ 清水 正己 渡辺 直樹 橋本 周 三枝 厚子 岡野 幸雄 本玉 秀夫 宇都宮 博	声楽家・合唱指導者 会社社長 はるひ野中学校 校長 麻生区文化協会 理事 麻生区PTA協議会 副会長 麻生区町会連合会 理事 麻生市民館サークル連絡会 副会長 一般公募委員	4	シニア世代の市民と市民 館活動 ～新たな市民参加のため にこれからの市民館にで きること～	6・ 30
			4		9・ 8
			1		12・ 15
			2		3・ 24
			3		

Ⅶ 2 刊行・広報活動

教文・市民館の活動やその役割を市民に周知することは、教文・市民館の諸活動にとって重要かつ基本的な事柄の一つである。

市民の学習要求の掘りおこしや教育的配慮を持って行う各種事業を的確に伝えるために、迅速に正しく知らせる必要があり、下記のように広報活動等を実施した。

(1) 教育文化会館だより・市民館だよりの発行（発行回数・部数）

教育文化会館だより	年8回	各回	9,500部
プラザ大師だより	年8回	各回	9,500部（教育文化会館だよりに併載）
プラザ田島だより	年8回	各回	9,500部（教育文化会館だよりに併載）
幸市民館だより	年7回	各回	7,000部
日吉分館だより	年7回	各回	7,000部（幸市民館だよりに併載）
中原市民館だより	年6回	各回	12,000部
高津市民館だより	年6回	各回	8,000部
プラザ橘だより	年5回	各回	3,500部
宮前市民館だより	年8回	各回	8,200部
菅生分館だより	年7回	各回	2,700部
多摩市民館だより	年5回	各回	7,300部
麻生市民館だより	年6回	各回	8,000部
岡上分館だより	年6回	各回	8,000部（麻生市民館だよりに併載）

(2) 活動報告書の発行（年1回、1,000部発行）

教育文化会館・市民館の各年度の事業の内容を報告書としてまとめて発行している。

(3) 市政だよりの利用

毎月、市内全戸に配布される市政だよりの利用は、教文・市民館の諸活動の事業案内において重要な役割を担っている。全市的・合同的な事業については市政だよりの全市版に掲載し、各区ごとの事業については市政だよりの区版により広報している。

(4) ポスター・チラシ・パンフレットの発行

教文・市民館の事業内容を周知するために、市民へのPRを行っている。

ア 館概要の発行～施設や設備などの内容を掲載。館利用者に適宜配布

イ 館の利用手引きの発行

ウ 事業用PRポスター・チラシ

各種学級・講座開設時に作成。公共機関掲示板や自治会町内会掲示板などを利用して周知

(5) その他

ア 上記に取り上げた他に、関係団体が発行する機関紙などに協力を求めて教文・市民館の活動の周知を図っている。また、関係行政機関などとの定例的会合を開催することにより、事業の協調や連絡をとり、各機関のもつ広報機能を相互に利用している。

イ 一般新聞の利用

広報活動の一環として、日刊新聞やいわゆるミニコミ誌の協力を得て広報に努めている。多数の市民の関心を集める点で貴重なPRとなっている。

ウ ホームページの開設

各館で順次開設してきたが、全館でホームページが開設され、各館内容の充実を図っている。

Ⅶ 3 職員研修

研修名	対 象	回数	趣 旨
社会教育初任者研修	社会教育・行政職員（新任・未経験）	6	社会教育初任者として必要な基本的知識や実践的能力を養う
	(内容) ①川崎の社会教育・生涯学習の現状と目指すもの（生涯学習研修と合同） ②社会教育職員に求められるものは何か ③市の人権施策を学び人権感覚を育成する（人権尊重研修と合同） ④多様な社会教育施設を知る ⑤財務会計の基礎を学ぶ ⑥社会教育関係法令の改正を踏まえて社会教育機関と職員の役割を学ぶ（生涯学習研修と合同） （延べ人数 33 人）		
指導・経営研修	社会教育・行政職員（主任～課長・施設長）	1	職場集団をまとめ、指導、補佐する職員や施設を経営する職員として必要な能力を養う
	(内容) ①安全安心の施設を目指して～地震災害に備えて利用者の安全確保を考える（延べ人数 24 人）		
スポーツ・青少年教育振興研修	社会教育・行政職員	0	社会教育における生涯スポーツ、青少年教育に関する知識や感性を獲得し、基本的・実践的能力を養う
	(内容) 今年度は実施せず		
生涯学習研修	社会教育・行政職員、学校教職員、市民	2	社会教育施設職員として必要な生涯学習・学者融合に関する基本的な知識や実践的な能力を養う
	(内容) ①川崎の社会教育・生涯学習の現状と目指すもの（初任者研修と合同） ②社会教育関係法令の改正を踏まえて社会教育機関と職員の役割を学ぶ（延べ人数 33 人）		
人権尊重研修	社会教育・行政職員、学校教職員、市民	2	教育職員として不可欠な人権に関する知識や感性を獲得し、基本的・実践的能力を養う
	(内容) ①市の人権施策を学び人権感覚を育成する（初任者研修と合同） ②市民館における平和人権教育の実際を知る（平和・人権担当者会議と共催） （延べ人数 16 人）		
課題研修	社会教育・行政職員、学校教職員、市民	6	社会教育施における様々な課題についての問題意識・専門性を高めることを目的とする
	(内容) ①三島市立図書館の実践例に学ぶ～医療情報・ビジネス支援情報の発信（図書館研修と合同） ②ノーバディーズ・パーフェクト（カナダの家庭教育プログラム）の体験ワークショップ（地域・家庭教育担当者会議と共催） ③図書館窓口の事例を中心にクレーム対応の基本と実践的な対応方法を学ぶ（図書館研修と合同） ④多文化共生に果たす社会教育の役割 ⑤地域の協働を育む社会教育職員の役割 ⑥シニアルネサンス財団の取組などから、シニア世代の動向とニーズに迫る（シニア事業担当者会議と共催） （延べ人数 83 人）		

研修名	対 象	回数	趣 旨
自主グループ 研修	社会教育（全施設）・行政職員	65	社会教育職員が、その専門的能力の向上を図るために、自ら研修を行うことを支援する
	(内容) Aグループ「魅力ある広報とは何か Part II」 全 10 回 Bグループ「川崎らしい市民教育を求めて」 全 12 回 Cグループ「市民館事業を見つめなおす」 全 12 回 Dグループ「社会教育指導員に求められるもの」 全 11 回 Eグループ「他都市・多施設に学ぶ」 全 8 回 Fグループ「情報を発信する図書館事業」 全 12 回 (延べ人数 376 人)		
施設別研修 (市民館)	市民館職員（新任・未経験）	7	市民館の役割や課題を理解し、非本的な業務に必要な実践的能力を養う
	(内容) ①学級・講座づくりの基礎Ⅰ～学級編成の技術・方法を学ぶ ②学級・講座づくりの基礎Ⅱ～広報のポイント、アピールするチラシ作りの実際 ③学級・講座づくりの基礎Ⅲ～ワークショップ、参加体験型学習の効果について ④市民自主学級・市民自主企画事業のあり方・課題 ⑤各自が担当している事業から課題を探る ⑥課題解決に必要な事業を企画運営する①～自分たちの思いを形にする ⑦課題解決に必要な事業を企画運営する②～学んだことを活かして実際に事業を企画運営する (延べ人数 63 人)		
施設別研修 (図書館)	図書館職員・行政職員・学校図書館関係職員	7	図書館の基本的業務に必要な実践的能力を養う
	(内容) ①図書館初任者を中心に、図書館のあり方とカウンター業務などの初歩を学ぶ ②児童サービス初任者を中心に、児童サービスの初歩を学ぶ ③地域サービスとレファレンス基本図書について学ぶ ④三島市立図書館の実践例に学ぶ～医療情報・ビジネス支援情報の発信（課題研修と合同） ⑤オンラインデータベースを使用したレファレンス解決 ⑥図書館窓口の事例を中心にクレーム対応の基本と実践的な対応方法を学ぶ ⑦公共図書館における児童サービスの役割 (延べ人数 178 人)		
施設別研修 (博物館)	博物館職員・行政職員・学校教職員	1	博物館の役割や今日的課題を学び、業務に必要な実践的能力を養う
	(内容) ①博物館施設における接客の基本姿勢を考える (延べ人数 62 人)		

※ 合同研修については、一方の研修のみに参加者数を計上した。

※ 各回の簡単な内容及び自主グループ研修の報告などは、「社会教育職員研究・研修報告書」（平成 22 年 3 月刊、生涯学習推進課）を参照

Ⅶ 4 職員研究

研修名	社会教育研究会議
期 間	2008（平成 20）～ 2009（平成 21）
テーマ	コーディネーターとは何か～いま、社会教育職員に求められていること～
主な内容	行政と地域を結びつけるコーディネーターの必要性が叫ばれる中で、コーディネーターの役割や機能について考えることを通して、川崎市の社会教育職員として、今何が求められているのかを探ることを目的とする。 21 年度は 2 年 1 期の研究のまとめの年であり、職員のコーディネーターに対する意識調査を行い、その結果から、今後の社会教育職員として必要なことをまとめた。
メンバー	宮島登（中原市民館）、和田牧子（麻生図書館柿生分館）、菊池なつみ（青少年科学館）、藤塚亮（スポーツ課）、畑山拓登（生涯学習推進課）

Ⅶ 5 視聴覚ライブラリー事業

視聴覚ライブラリー機材・教材貸出事業

○月別機材・教材貸出状況 2009（平成 21）年 4 月～2010（平成 22）年 3 月

※視聴覚センター（総合教育センター内）保有の教材・機材の貸出し数と述べ利用人数

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
教育文化会館	貸 出 数	0	15	4	21	34	13	11	13	16	12	10	9	158
	利用人数	0	661	21	3227	2266	1479	1310	749	439	876	558	186	11772
幸 市 民 館	貸 出 数	0	8	10	11	21	10	0	10	5	5	10	17	107
	利用人数	0	2680	294	591	1163	168	0	1137	740	0	288	3234	10295
中原市民館	貸 出 数	1	3	10	24	4	0	0	11	12	5	0	2	72
	利用人数	14	60	1365	843	712	0	0	24000	198	0	0	4	27196
高津市民館	貸 出 数	0	10	5	30	9	12	8	4	0	0	7	0	85
	利用人数	0	1570	600	2268	248	1139	780	385	0	0	3950	0	10940
宮前市民館	貸 出 数	10	3	4	14	9	5	3	11	10	3	4	0	76
	利用人数	605	180	525	6368	660	600	181	840	664	1440	960	0	13023
多摩市民館	貸 出 数	1	1	8	12	21	13	2	3	16	7	10	9	103
	利用人数	0	40	1224	4034	896	4660	300	12	1220	257	560	860	14063
麻生市民館	貸 出 数	0	1	5	10	2	0	4	5	16	0	3	0	46
	利用人数	0	55	44	655	10	0	76	445	279	0	0	0	1564
総合教育センター	貸 出 数	9	8	40	8	14	3	16	10	8	22	10	6	154
	利用人数	150	308	451	685	326	154	875	299	151	5824	143	160	9526
合 計	貸 出 数	21	49	86	130	114	56	44	67	83	54	54	43	801
	利用人数	769	5554	4524	18671	6281	8200	3522	27867	3691	8397	6459	4444	98379

○機材一覧

	暗幕	16ミリ映写機	スライド映写機	OHP	OHC	ビデオ・モニター※1	スクリーン	液晶ビデオ映写機※2	ビデオ編集機	アンプ
教育文化会館	20	3	2	2	1	1 (1)	4	4 (2)	0	1
幸 市 民 館	30	4	6	2	1	1 (1)	2	2 (2)	1	0
中原市民館	20	6	5	3	1	1 (1)	1	1 (1)	1	0
高津市民館	20	2	2	1	0	1 (1)	1	2 (2)	1	0
宮前市民館	28	5	4	2	0	1 (1)	3	3 (2)	0	1
多摩市民館	20	3	2	1	0	1 (1)	1	2 (1)	1	0
麻生市民館	18	5	2	1	1	1 (1)	2	1 (2)	0	0
総合教育センター	89	5	5	2	2	2	4	3 (3)	0	1

※1 () は、DVD 一体型ビデオデッキ ※2 () はパソコン対応

○団体別利用状況（2009（平成 21）年 4 月～2010（平成 22）年 3 月）

団体 教材		市教委							幼稚園 学 校							関係団体 社会教育							事業所						
		教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生
施 設	暗 幕	1	3	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16 映	ミ 写 リ 機	1	1	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ス ラ イ ド		1	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	2	26	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
O H P		0	1	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	14	0	1	0	0	23
ビ デ オ・ モ ニ ター		4	5	0	4	0	17	18	0	0	0	0	4	9	3	4	1	0	3	0	0	14	42	6	0	2	0	0	39
液 晶 ビ デ オ 映 写 機		44	14	0	22	1	61	78	6	5	0	0	0	17	8	6	2	2	7	0	0	11	102	21	0	6	0	0	7
ビ デ オ 編 集 機		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		54	20	8	4	0	105	0	10	5	1	0	0	28	0	32	1	5	0	0	0	0	206	7	0	1	0	0	0

団体 教材		自治会 町内会							官公署							その他							計							総 計
		教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	
施 設	暗 幕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8	1	0	0	0	30	2	17	6	2	0	0	30	6	61
16 映	ミ 写 機	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	0	3	6	16	0	3	10	0	4	6	22	1	46
ス ラ イ ド		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14	28	7	15	12	28	7	14	28	7	15	15	114
O H P		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	44	0	1	19	0	1	33	44	36	134
ビ デ オ・ モ ニ タ ー		0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	2	0	0	5	2	23	20	108	0	55	31	54	37	21	119	4	81	110	426
液 晶 ビ デ オ 映 写 機		0	2	0	0	0	0	0	30	4	0	46	0	22	4	8	10	0	99	55	97	24	196	58	2	180	56	197	132	821
ビ デ オ 編 集 機		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	1	0	0	0	0	0	28	10	3	1	0	11	0	18	192	75	44	0	188	0	348	236	92	50	0	332	0	1058

Ⅶ 6 16 ミリ映写機操作技術講習会

会 場	開 催 日	参加者	内 容
幸 市 民 館	6 月 21 日	16 人	映写機の原理と構造及び利用方法 映写機の操作実習 映画フィルムの取扱い方法 視聴覚ライブラリーの利用方法
中 原 市 民 館	6 月 7 日	17 人	
多 摩 市 民 館	7 月 12 日	22 人	

